

「第18回救急シンポジウム」を開催しました！

平成29年9月10日、相馬地方病院群輪番制協議会、福島県医師会及び相馬郡医師会の共催で、相馬市総合福祉センター「はまなす館」で開催しました。

今回は「相馬地方の脳卒中を考える」をテーマに、脳卒中における救急医療を取巻く状況に焦点を当て、また、本年3月に南相馬市に脳卒中センターが開院したことを受け、相馬地方における脳卒中の現状と課題、将来の展望について情報を共有する機会となりました。会場には医療関係者・消防団員・女性消防隊・救急ボランティア・市民など263名の参加がありました。



第1部では、南相馬市立総合病院長の及川友好先生を講師にお招きし「相馬地方における脳卒中の現状と課題」についてご講演をいただきました。

来場者からは、「大変勉強になった」「役に立った」という声を頂きました。

シンポジウムに先立ち、人命救助の功績による感謝状贈呈を行いました。

三菱日立パワーシステムズ(株)三浦仁様、同岩下成人様、(株)弘誠工業青木勝弘様、以上の方々は突然意識をなくし倒れた傷病者に対し、迅速かつ的確な救命処置（心肺蘇生法及びAEDの使用）により一人の尊い命が救われました。今後ますますのご活躍をご祈念申し上げます。



第2部では、「脳卒中に関するQ&A」を及川先生と南相馬消防署救急係長の伊藤救命士が対話方式により行いました。

脳卒中になりやすい季節はありますか？気になる症状があるときは何科を受診すればいいのか？などの質問に対し先生からわかりやすく回答して頂きました。特に高血圧を予防することが大切で、普段の食生活では塩分の摂り過ぎには十分注意が必要とのことでした。